

令和6年5月29日

共 産 党

中学校英語スピーキングテストの実態調査及び結果
の公表を求める意見書（案）

中学校英語スピーキングテスト(ESAT-J)は、令和5年度の都立高校入試から導入され、令和6年度の入試でも活用されている。

一方で、問題作成・試験・採点まで民間事業者が実施することから、導入前から公平性・公正性を欠いているとの指摘がなされてきた。

入試改革を考える会などが行ったアンケート調査では、実際のテストで、音漏れで他生徒の声が聞こえたり、待機時間中に隣室の音声聞こえ問題が推測できたなどのケースが報告されている。また、テスト問題について、高校で履修する文法が出題されるなど東京都教育委員会の監修が機能していないことも明らかになっている。

ESAT-Jは、導入時から受託してきた(株)ベネッセコーポレーションが令和6年度入試で撤退し、令和7年度入試からは別の事業者が実施することとなり、新たな機材準備等によりさらに予算が増大している。加えて、この間指摘されているテストに関する問題点について、東京都教育委員会として調査することさえ拒んでいることは、公教育を民間事業者に丸投げするものであり責任放棄に他ならない。

よって、板橋区議会は、東京都教育委員会に対し、中学校英語スピーキングテスト(ESAT-J)の実態調査及び結果の公表を強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

年 月 日

東京都板橋区議会議長名

東京都教育委員会教育長 宛